

士幌町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

寒冷畑作地帯の本町における農業は、小麦・てん菜・馬鈴薯・豆類・コーン類を基幹作物とした輪作体系を基本とする畑作専業、蔬菜類を作付体系に取り入れた畑作野菜複合・大型酪農専業・肉牛専業の4類型を中心として、作物毎、地区毎に組織された生産組織により共同機械利用及び作業を推進している。近年の農業情勢から国際競争力のさらなる強化が求められており、革新的な生産力向上及び低コスト化の両立を目指して、輪作体系確立、新技術・新品目導入、施設・機械整備の一体的な取組が急務である。

2 作物ごとの取組方針

(1) 秋まき小麦

GPSや高速通信技術の活用による収穫体系の効率化・低コスト化、新品種の導入による収益性向上を図る。

(2) てん菜

直播狭畦栽培や効率的収穫・輸送体制などの省力型生産システムの確立と普及推進により作付面積の拡大に努める。

(3) 馬鈴しょ（生食用・加工用・でん粉原料用・種子用）

省力型栽培体系の普及と施肥効率の改善、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性の優良品種導入により安定生産を目指す。

(4) 豆類

栽植密度の適正化と新規施肥体系の普及で収量性の向上を目指す。

(5) コーン類

栽植密度の適正化と新規施肥体系の普及で収量性の向上を目指す。

(6) 野菜

省力・低コスト型の栽培体系を検討し、加工用途向けの原料作物の作付拡大を目指す。

(7) 不作付地の解消

有休耕地はあるが、不作付地は存在しない。

3 作物ごとの作付予定面積

| 作物 | 平成 25 年度の作付面積 (ha) | 平成 27 年度の作付予定面積 (ha) | 平成 28 年度の目標作付面積 (ha) | |
|---------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------|
| 秋まき小麦 | 2,565.28 | 2,455.94 | 2,530.00 | |
| 大豆 | 321.97 | 486.10 | 320.00 | |
| 小豆 | 949.06 | 845.83 | 950.00 | |
| いんげん | 449.01 | 521.07 | 415.00 | |
| 馬鈴しょ | 2,119.78 | 2130.90 | 2,100.00 | |
| てん菜 | 2,141.39 | 2,154.00 | 2,150.00 | |
| スイートコーン | 595.42 | 598.00 | 600.00 | |
| 野菜 | ・にんじん | 90.29 | 77.83 | 90.00 |
| | ・ながいも | 48.39 | 46.00 | 40.00 |
| | ・たまねぎ | 28.07 | 29.43 | 30.00 |
| | ・その他野菜 | 23.29 | 37.68 | 28.50 |

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

| 取組 番号 | 対象作物 | 取組 | 分類 ※ | 指標 | 平成 25 年度 (現状値) | 平成 27 年度 (予定) | 平成 28 年度 (目標値) |
|----------|------|----|---------|----|-------------------|------------------|-------------------|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組